

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年8月14日

**【四半期会計期間】** 第44期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

**【会社名】** 平安レイサービス株式会社

**【英訳名】** HEIAN CEREMONY SERVICE CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 相馬 秀行

**【本店の所在の場所】** 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

**【電話番号】** 0463 - 34 - 2771 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 神山 昇

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

**【電話番号】** 0463 - 34 - 2771 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 神山 昇

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第43期 第1四半期 連結累計期間		第44期 第1四半期 連結累計期間		第43期	
	自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高 (千円)		2,298,824		2,348,206		9,445,271
経常利益 (千円)		475,752		486,875		1,841,086
四半期(当期)純利益 (千円)		267,754		294,785		981,255
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		273,139		284,923		995,026
純資産額 (千円)		11,741,738		12,128,584		11,975,020
総資産額 (千円)		27,937,943		28,156,910		28,477,627
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)		19.02		22.44		72.43
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		42.0		43.1		42.1

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。  
 また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済の概況は、景気は依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるとした上で、欧州政府債務危機を背景とした金融資本市場の変動や海外景気の下振れ、電力供給の制約、デフレの影響等のリスクが依然として残る状況でありました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強・新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下の通りであります。

#### 冠婚事業

当事業では、ドレスラインナップ強化の参加型イベント「ウェディングドレスコンテスト」を開催し一般婚礼の集客増を図ると共に、季節限定の「ランチ&スイーツビュッフェプラン」や「ロイヤルディナープラン」、「プレミアムランチプラン」といった婚礼外利用による周辺売上強化に注力をいたしました。

その結果、小規模婚礼組数および宴会件数は前年同期比で増加したものの、一般婚礼組数は前年同期比で減少いたしました。

また列席者数減少の影響により婚礼一組単価が減少となった結果、売上高は142百万円（前年同期比26.0%減少）となりました。

経費面では前期より冠婚事業の生花内製化を開始した事により原材料比率が前年同期比で良化いたしました。一般婚礼組数の減少により営業利益は23百万円（前年同期比43.1%減少）となりました。

#### 葬祭事業

当事業では、前期より実施の中小規模の葬儀にも対応可能なフロア改装として、当第1四半期では湘和会堂町田に家族葬専用式場及びご安置された故人と気兼ねなく寄り添っていただける専用安置室「貴殯室」を新設し、幅広い施行規模に応じたレイアウトや料金プランを提供できるようサービスのラインナップ充実に努めてまいりました。

営業面では参加型葬儀の提案商品「花園」「追悼壇」、家族葬等に対応する新商品「遺影壇」、「おもてなしの心」を大切にされた通夜料理メニュー「雅」などを通じて人的提案力を高める教育に努め、明確

な料金プランの充実と、ご利用者が具体的に商品やサービスを実感できるビジュアルツール整備を実施いたしました。

その結果、営業エリアにおける死亡人口増加率は当初予測を下回る減少となりましたが、前期開業の葬祭新店舗「湘和会館長後」（藤沢市高倉）が順調に施行件数を伸ばす等、シェア率が増加したことにより施行件数は前年同期比で増加、葬儀一件単価も前年同期比で増加した影響により売上高は1,957百万円（前年同期比4.3%増加）となりました。

また、高付加価値商品の販売強化により営業利益は584百万円（前年同期比4.8%増加）となりました。

#### 互助会事業

当事業では、売上高67百万円（前年同期比4.9%減少）、営業利益は37百万円（前年同期比3.2%増加）となりました。

#### 介護事業

当事業では、介護報酬制度改定の影響により売上高は246百万円（前年同期比8.5%増加）、営業利益13百万円（前年同期比95.2%増加）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,348百万円（前年同期比2.1%増加）、営業利益は455百万円（前年同期比4.5%増加）となり、経常利益は有価証券利息が前年同期比で減少した結果486百万円（前年同期比2.3%増加）となりました。

また、法人税法の改正により税率が軽減した結果、四半期純利益は294百万円（前年同期比10.1%増加）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して320百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払及び有価証券、投資有価証券の取得、償還により現金及び預金が129百万円減少、有価証券が取得、償還、振替等により803百万円の増加となりました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が振替により920百万円減少しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して474百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が348百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が44百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して153百万円の増加となりました。

### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,400,000
計	52,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,667,000	14,667,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社 における標準となる株式 単元株式数は100株であります
計	14,667,000	14,667,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月30日	-	14,667,000	-	785,518	-	2,838,393

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,532,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,132,700	131,327	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,400		同上
発行済株式総数	14,667,000		
総株主の議決権		131,327	

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。  
 また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。
2. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
平安レイサーサービス株式会社	神奈川県平塚市 桜ヶ丘1番35号	1,532,900	-	1,532,900	10.45
計		1,532,900	-	1,532,900	10.45

(注) 当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(自己株式等)」の欄に含めております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,828,690	5,698,853
売掛金	224,037	245,110
有価証券	3,803,994	4,607,798
商品及び製品	48,833	49,150
原材料及び貯蔵品	108,287	109,066
繰延税金資産	94,217	28,013
供託金	45,100	960
その他	100,430	185,406
貸倒引当金	615	810
流動資産合計	10,252,975	10,923,548
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	4,165,489	4,109,920
機械装置及び運搬具（純額）	55,043	47,903
工具、器具及び備品（純額）	136,170	127,678
土地	6,824,636	6,824,636
その他	29,648	29,293
有形固定資産合計	11,210,988	11,139,432
無形固定資産	56,009	52,481
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,252,513	3,331,950
長期貸付金	39,500	39,500
長期預金	600,000	600,000
繰延税金資産	293,428	298,148
その他	1,772,212	1,771,850
投資その他の資産合計	6,957,653	6,041,448
固定資産合計	18,224,651	17,233,362
資産合計	28,477,627	28,156,910

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	205,270	196,293
未払法人税等	451,145	102,220
掛金解約手数料戻し損失引当金	2,838	2,930
その他	710,249	638,052
流動負債合計	1,369,503	939,496
固定負債		
繰延税金負債	43,932	43,759
退職給付引当金	58,182	61,225
役員退職慰労引当金	88,701	86,102
資産除去債務	94,922	95,366
前払式特定取引前受金	14,820,262	14,775,666
その他	27,101	26,709
固定負債合計	15,133,103	15,088,829
負債合計	16,502,607	16,028,326
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	9,049,731	9,213,176
自己株式	670,450	670,468
株主資本合計	12,003,192	12,166,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,172	38,034
その他の包括利益累計額合計	28,172	38,034
純資産合計	11,975,020	12,128,584
負債純資産合計	28,477,627	28,156,910

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,298,824	2,348,206
売上原価	1,562,498	1,594,499
売上総利益	736,325	753,707
販売費及び一般管理費	300,249	297,876
営業利益	436,076	455,831
営業外収益		
受取利息	12,464	6,193
受取配当金	1,096	1,167
掛金解約手数料	8,028	7,517
補助金収入	2,718	-
その他	22,639	18,220
営業外収益合計	46,947	33,098
営業外費用		
供託委託手数料	1,298	1,338
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	2,533	91
有価証券評価損	1,300	-
その他	2,139	624
営業外費用合計	7,271	2,054
経常利益	475,752	486,875
特別損失		
固定資産除売却損	13,074	-
特別損失合計	13,074	-
税金等調整前四半期純利益	462,678	486,875
法人税、住民税及び事業税	124,355	125,298
法人税等調整額	70,567	66,791
法人税等合計	194,923	192,089
少数株主損益調整前四半期純利益	267,754	294,785
四半期純利益	267,754	294,785

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	267,754	294,785
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	5,384	9,862
その他の包括利益合計	5,384	9,862
四半期包括利益	273,139	284,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	273,139	284,923
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による影響額は、軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	114,390千円	112,279千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	126,666	9	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月23日 定時株主総会	普通株式	131,340	10	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	192,351	1,875,865	1,927	227,231	2,297,376	1,448	2,298,824
セグメント間の内部 売上高又は振替高			69,160		69,160		69,160
計	192,351	1,875,865	71,088	227,231	2,366,536	1,448	2,367,984
セグメント利益	41,042	557,491	36,557	7,125	642,217	499	642,716

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	642,217
「その他」の区分の利益	499
全社費用(注)	206,640
四半期連結損益計算書の営業利益	436,076

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	142,260	1,957,374	779	246,564	2,346,979	1,227	2,348,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高			66,855		66,855		66,855
計	142,260	1,957,374	67,634	246,564	2,413,834	1,227	2,415,062
セグメント利益	23,342	584,124	37,741	13,910	659,118	156	659,275

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	659,118
「その他」の区分の利益	156
全社費用(注)	203,444
四半期連結損益計算書の営業利益	455,831

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	19円02銭	22円44銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	267,754	294,785
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	267,754	294,785
普通株式の期中平均株式数(株)	14,074,103	13,134,042

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 7日

平安レイサービス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水 野 雅 史 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 澤 田 修 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている平安レイサービス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、平安レイサービス株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。